

Route Press 21st.

道 21 世紀 新聞

発行所：内閣府認証 特定非営利活動法人 人と道研究会
東京都千代田区三番町7-1 朝日三番町プラザ
Web http://www.route-press21st.jp



荒井正吾・奈良県知事

悠久の営みに平成の燭光

倭は 国のまほろば
たたなづく 青垣
山隠れる 倭じうるはじ

奈良

古事記によれば景行天皇の子・倭建命(やまとたけのみこと)が死の直前、ふるさと奈良の美しさを偲んで詠んだ。まほろぼとは、素晴らしい場所、住みやすい国をいう古語。景行天皇の宮は纏向、今の奈良県桜井市の山辺の道にあった。その纏向で11月、3世紀の大規模建築の柱

穴群が発掘された。魏志倭人伝にある邪馬台国を卑弥呼が治めた時代。卑弥呼の宮殿跡なら邪馬台国論争に終止符を打ち、日本国家が奈良を中心に形成された証左だ。平城遷都1300年祭も開幕。日本の夜明けを担った奈良。国づくりの古代ロマンが蘇る。

日本の夜明け担う

山陰道、西海道が七道である。日本の道はまさに奈良から始まったと言える。

一般に奈良時代は平城京を都とした時代を指すが、奈良県には平城京以前から多くの都(天皇の宮)があった。纏向遺跡の発見が邪馬台国であると否にかかわらず、日本の国家誕生から確立まで、奈良が舞台だったことに異論はない。飛鳥の宮々から藤原京、平城京へ。大和の時代が脈々と繋がっている。

平城京と東大寺の大仏建立はその集大成の姿としての奈良の象徴だ。この時代に国づくりが一気に進んだ。法的な諸制度の整備と並行して、国の形を造るのは、道路と建築であり、今言う社会資本の整備だ。その原点が奈良にある。

日本の道の起点に

極殿は工事の覆いが除かれ、その威容を平城京跡に見せ始めた。既に公開中の朱雀門とともに、往時の雄姿を偲はせる。

シルクロードの東の終着点・奈良を舞台にした1300年祭は、除夜の鐘を合図にカウントダウン。新年は多彩な行事に重ね合わせ、国づくりの原点に思いを馳せたい。

送、地方の情報収集などに道路を整備し、最速情報収集のため馬を飛ばした。疲れた馬を交代させた中継点がある。だから駅の字は馬偏がついている。

駅というと鉄道の駅を連想しがちだが、本来は道路交通の要所つまり「道の駅」である。駅の整備は、中国初の強大な中央集権国家を確立した秦の始皇帝の時代。軍の移動、都への物資輸

10年がかりで復元した平城京のシンボル大極殿。09年秋には覆いが取り払われ、雄大な姿を見せ始めた。10年4月の式典での公開に向け、追い込みの整備が続く。

第26号 INDEX

1~3	平城遷都1300年祭開幕
4/5	「環境に取り組む一輝く人たち」
6	列島保全への課題
7	世界の飢餓対策
8/9	特集「道の駅 冬のイベント15選」
10	国土学事始め なるほどブリッジ
11	話題の道の駅
12/13	グリーンツーリズム
14	読者の声 おもしろ万葉集
15	プレゼント パズル

平城遷都1300年祭 開幕

気温マイナス30度の氷上露天風呂、雪の中で凧として咲き誇る冬ぼたん、温かいこたつでほんわかと楽しむ遊覧船、厳寒の海に潜って探り出す冬サンゴ。寒さに負けない冬イベントや冬の風物詩が各地にある。道の駅から訪ねる「冬15選」でデフレも寒さも一気に吹き飛ばそう。

駅から訪ねる 冬イベント 15選

1 氷上露天風呂 北海道鹿追町
 うりまく ☎0156・87・2345

標高810㍍に位置する然別湖(しかりべつこ)の凍結した湖上に1月20日、コタン(アイヌ語で村)が出現する。水と雪で作られたアイスロッジ、チャペルなどが並び、コンサートホールでは毎週末コンサートが開かれる。名物はマイナス30度超の氷上に設置される露天風呂。湖畔に湧出する天然温泉をパイプで循環させる本格派、ここでしか体験できない氷上の温泉天国。雪と氷の真っ白な世界で十勝の冬を満喫できる。

コタンは3月末まで。(道東道十勝清水ICからR274)



2 北三陸くじ冬の市 岩手県久慈市
 くじ ☎0194・66・9200

同市では市街地活性化のため3年前から北三陸くじ冬の市を11~2月に計4回開催している。会場は駅やませ土風館周辺と目の前の歴通路(レトロ)広場。1月23日はあわび祭り、2月28日は毛がに祭り、北三陸の海の幸が勢揃いする。今年の目玉は同時開催のB級グルメ市。鮭わさびコロッケ80円、さばコロッケ70円、岩手短角牛メンチ200円などが販売される。(東北道九戸ICからR281)

3 冬咲きぼたん 山形県高島町
 たかはた ☎0238・52・5433

同町が「冬を元気に」と始めた「まほろば冬咲きぼたんまつり」は2月6~14日まで。町内各所で50種以上70株の大輪のぼたんが楽しめる。この時期、積雪は1㍍前後、真っ白な雪景色の中、わらで編んだ「こも、」の中に咲く大輪のぼたんは、雪に負けない元気と彩り鮮やかな風情を贈ってくれる。島根県大根島で育てられたぼたんを開花直前に移植している。(山形道山形蔵王ICからR113)



4 湯西川温泉かまくら祭り 栃木県日光市
 湯西川 ☎0288・78・1222

平家の落人伝説が残る同市湯西川温泉では1月9~3月22日まで湯西川温泉かまくら祭りを開催する。平家の里前のメイン会場には大型のかまくら12基が並び、ライトアップされる。近くの湯西川沢口河川敷にはミニかまくら約1000基がボランティアらの協力而出现する。(日光宇都宮道今市ICからR121)

5 おぢや風船一揆 新潟県小千谷市
 ちぢみの里おぢや ☎0258・81・1717

2月27、28日に開催される「おぢや風船一揆」は冬期間休眠する畑地と豪雪を活かしたイベント。小千谷に春を呼ぶ風物詩でもある。年々参加団体が増え、今回は約40機の気球が参加する。真っ白な雪原にカラフルな熱気球が浮かび、27日夜には気球の上空に火花が打ち上げられる。特産の小千谷縮の雪さらし実演、熱気球(係留)の試乗体験なども。(関越道小千谷ICからR17)

6 イチゴ狩り 千葉県南房総市
 とみうら ☎0470・33・4611

駅のイチゴガーデンは元日にオープン、5月まで春の味を楽しむ。品種は章姫、紅ほっぺ、トムベリー、桃子、とちおとめの5品種。時期により食べられない品種もあるが、食べ比べ食べ放題に同時にチャレンジできる。料金は1日目で1600円、以後2月までは1500円。週末は予約をしたほうが安心。(館山道富浦ICからR127)

7 カピバらの入浴 静岡県伊東市
 伊東マリンタウン ☎0557・38・3811

同市の伊豆シヤポテン公園で、南米原産の最大のおねずみ、カピバラ一家の入浴が始まった。カピバラは寒さが大の苦手。25年前、飼育池の掃除をするため、飼育員がお湯を使ったところ、カピバラがお湯につかるのを発見した。これが国内各地で見られるカピバラ入浴の始まり。



両親と2歳、ゼロ歳2頭の一家は仲良く湯煙の中で気持ちよさそうに目を細めていた。入浴は毎日午前中、3月まで毎日行われる。(小田原厚木道小田原西ICからR135)

8 輪島あえの風冬祭り 石川県輪島市
 輪島 ☎0768・22・6588

奥能登を襲う寒風はブリを運んでくるので、地元では幸せを意味するあえの風と呼び、大歓迎している。冬祭りは2月13~21日まで、市内各所で輪島塗ありがとう市、あえの風茶会、ごっつお祭り、朝市感謝祭などが開かれる。最後を締めくくるとは駅を会場にした「にぎわい大市」。食べる、買う、参加するイベントが揃い輪島の冬が凝縮されている。(能登道能登空港ICから七尾輪島線)

9 冬の農山村衣装 岐阜県高山市
 ななもり清見 ☎0577・68・0022

同市の飛騨民俗村では1月16~2月28日まで、飛騨の寒さを体感できるイベントがいっぱい。この期間、村の合掌造り民家はライトアップされ、雪だるまやかまくら作り、箱そりや竹スキー遊び、かんじきでの雪上歩行体験が出来る。土日祝には甲斐屋で焼き餅、漬物が振舞われる。(中部縦貫道高山西ICからR158)

10 鹿寄せ 奈良市
 針T.R.S ☎0743・82・5633

同市飛火野(春日大社参道南側)で、ナチュラルホルンの音色に誘われて、鹿が集まって来る。1月28~3月6日までの毎日、午前10時から約10分間、冬の奈良名物・鹿寄せが披露される。ご褒美のドングリを食べて満足げな鹿たち。見つめる観光客もほんのりした気分になる奈良の冬の風物詩である。(名阪道針ICからR25)

11 スノーシュートレッキング 岡山県粟倉村
 あわくらんど ☎0868・79・2331

兵庫、鳥取県境に接した同村の冬の名物はスノーシューまたはかんじきを履いて駒の尾山(1280㍍)を目指すスノーシュートレッキング。2月2~3日を皮切りに一泊二日で計5回を予定している。寒さに耐えて神秘的な冬山や冬の森に足を踏み入れると、そこに広がるのは白い、音のない世界、非日常の感動を味わえる。

そり遊びなどのお父さん元氣イベントは1月9~10日など計3回。参加予約は西粟倉村森の村振興公社(☎0868・79・2330)へ。(中国道作用ICからR373)



駒の尾山の山頂で

12 こたつ船 松江市
 秋鹿なぎさ公園 ☎0852・88・3700

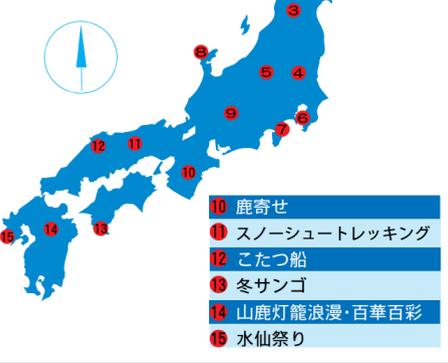
松江城を囲む堀川(約3.7㍍)を巡る観光遊覧船は冬の間(11月中旬~4月上旬)、ユニークなこたつ船となる。頬をなでる冷たい風、ときには小雪も舞う山陰の冬の寒



さを実感するが、足元はポッカポカ。山陰唯一の天守閣、武家屋敷、塩見繩手の老松など風情ある町並みをめぐる約50分の船旅。

松江の冬の味を満喫できる暖談ごちそう市場は2月7、14、21日に開かれる。(山陰道松江西ICからR431)

- 1 氷上露天風呂
- 2 北三陸くじ冬の市
- 3 冬咲きぼたん
- 4 湯西川温泉かまくら祭り
- 5 おぢや風船一揆
- 6 イチゴ狩り
- 7 カピバらの入浴
- 8 輪島あえの風冬祭り
- 9 冬の農山村衣装



13 冬サンゴ 高知県土佐清水市
 めじかの里土佐清水 ☎0880・83・1103

同市竜串のサンゴ観賞は、海水の透明度があがる冬が最適。竜串観光振興会では温かい鍋とスキューバーダイビングを組み合わせたイベントを2月まで開いている。

海水温は約17度、外気温より温かく、ダイバーは「海のほうが温かい」といいながら竜串の誇るサンゴの華・シコロサンゴやウミウシなど海の生き物の魅力を探っている。グラスボートからのサンゴ観賞もできる。(高知道須崎東ICからR321)

14 山鹿灯笼浪漫・百華百彩 熊本県山鹿市
 鹿北 ☎0968・32・4111

2月5~2月27日までの毎週金・土曜日の夜、同市で山鹿灯笼浪漫・百華百彩(やまがとうろうろまん・ひやくかひやくさい)が開かれる。

会場は豊前街道の面影の残る商店街。地元ボランティアなどが製作したオブジェがほのかにロウソクの灯りで浮かび上がり、幻想的な雰囲気にも包まれる。明治の芝居小屋・八千代座(国の重文)では午後8時30分から山鹿太鼓と山鹿灯笼踊り(有料)が披露される。(九州道広川ICからR3)



15 水仙祭り 長崎市
 夕陽が丘そとめ ☎0959・25・1430

長崎半島の先端部に位置する同市野母崎・水仙の里公園の水仙祭りは1月7~31日まで。冬の花を代表する水仙の別名は雪中花。寒さにも雪にも負けない元気さを見せ、1000万本が満開の花を繰り広げる。7~24日までの期間は先着200人に水仙の花束がプレゼントされる。(長崎道長崎ICからR202)



橋がつなぐ みんなの未来
社団法人 日本橋梁建設協会
 http://www.jasbc.or.jp/

あなたの「気になる橋」をお寄せください。

読者の皆さまの気になる橋をご紹介ください。ご当地自慢の橋、その橋にまつわるエピソード、橋の疑問など、橋にまつわる事なら大歓迎です。

宛先
 〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-5-16 パームコート1F
 NPO法人 人と道研究会
 「目黒編集制作室」宛



橋のコラム
③ リベットから溶接へ

戦後における橋づくりの最初の大きな変化の一つは、工場での鋼板の接合方法がリベットから溶接に変わっていったことです。第二次世界大戦前から戦後の戦災復興期そして昭和30年代のはじめまで橋梁工場はリベットを打ち込む耳をつんざくばかりの騒音にあふれ、赤熱した鉄道をハンマーで叩く鍛冶工がそがしげに働く「鍛冶屋の工場」でした。加工の工程で今日では全く見られなくなりました。これは鍛冶屋さながらの昔ながらの鉄の加工方法で赤熱した状態で鉄を曲げたり、叩いたりして変形させて加工する方法です。このような鍛冶仕事のハンマーの騒音、リベット焼きの煙も自動溶接が導入されてリベット構造から溶接構造に変わっていく中で次第に工場から姿を消していったのです。

はしけん 君

現在のアーチ橋

現在のアーチ橋は、材料が石から鋼やコンクリートに変わったものの、アーチは今日でも盛んに建設される構造型式です。

世界最大のアーチ橋は、上海盧浦大橋で、550mの径間を持つ鉄骨構造のアーチ橋。また、世界で始めて箱型のアーチ構造を採用

船が通ることのできる、世界最大で、高さが9m、幅5mにもなるアーチは、スパン305mの大坂の新津川橋で、大正区船町1丁目と大阪市住之江区柴谷2丁目間に架かるニールセンアーチ橋です。また、錦帯橋は、山口県岩国市の錦川に架橋された木造橋となっています。

総長は4万m以上に達し、上海市内高速道路の全長に迫るといわれています。現在我が国で最長のアーチは、スパン305mの大坂の新津川橋で、大正区船町1丁目と大阪市住之江区柴谷2丁目間に架かるニールセンアーチ橋です。また、錦帯橋は、山口県岩国市の錦川に架橋された木造橋となっています。

橋がつなぐ みんなの未来

Bridges bring our brighter future. vol.9
アーチ橋

アーチは、自然の荷重状態ではとても安定性の高い構造といえます。古代、中世の石造アーチが今も数多く残されていることが証明しています。

アーチ橋の試練

石造アーチの架設は、あらかじめ組まれた木製の支保工を取り外した後、しばらくの間が試練の時といえます。中世後期以降になつて、偏平なアーチが造られるようになると、支保工をはずすと落橋する石造アーチもありました。支点が水平方向に少しずつずれ、これを吸収し、安定を保つことになりました。逆に、長年耐えてやがて崩壊に至るのでした石造アーチは取り壊し易くありません。

力が大きくなり、架設もむずかしくなるので、しかし、岩盤などのしっかりした場所に建設された石造アーチは、時間とともに自分の重さでより堅牢さを増していきます。大きな変化さえなければ多少基礎が移動しても、自らの形を少し変えながらこれを吸収し、安定を保つことになりました。逆に、長年耐えてやがて崩壊に至るのでした石造アーチは取り壊し易くありません。

アーチ橋の原理

アーチ橋は、古代ギリシャが起源であると、紀元前30世紀の伝説や、紀元前30世紀の伝説にメンポタミアで尖った形のアーチが作られていました。

アーチ橋は、古代ギリシャが起源であると、紀元前30世紀の伝説や、紀元前30世紀の伝説にメンポタミアで尖った形のアーチが作られていました。

アーチは、自然の荷重状態ではとても安定性の高い構造といえます。古代、中世の石造アーチが今も数多く残されていることが証明しています。

アーチは、自然の荷重状態ではとても安定性の高い構造といえます。古代、中世の石造アーチが今も数多く残されていることが証明しています。

